

日本酒に賞味期限は ありません

小売店様、お取り扱い業者様へのお願い

指をいためないように
ゆっくりお開け下さい

近年、消費者の安心、安全志向の高まりからか、日付経過品という扱いで、製造年月から1、2ヶ月の経過で日本酒を返品されるケースが増えて参りました。日本酒は、生鮮食品と違い日付が経過しても人体に影響はなく、本来賞味期限という概念はありません。コーデックス（国際食品規格）においても、アルコール度数が10度以上ある飲料に関しては、製造時期、賞味期限等を記載する必要がないと定められております。しかし、国内においては賞味期限に関する規定はないものの、国税庁の表示基準で製造年月を記載する取り決めになっています。業界をあげてリサイクル活動に邁進しておりますが、環境保全が叫ばれている時代にあつて、早期の返品は資源の有効利用の面からもマイナスです。また、中小零細企業が多い酒造業界にとって、返品は企業経営の大きな足かせになっているのが実情です。どうか、日本酒の日付経過への皆様のご理解を賜りたくお願い申し上げます。